



運動不足の解消と歴史散策

ノルディックウォーキング体験会



コースの途中で土津神社を訪れた参加者ら

猪苗代青年会議所の主催によるノルディックウォーキング体験会は7月23日、カメリーナをスタートし町内の土津神社などをめぐりコースで開催されました。この体験会は、町内に避難している人たちに運動不足を解消してもらいながら、本町の歴史に触れてもらおうと同会議所が企画したもので、浪江町、双葉町や飯館村などから約50人が参加しました。

浪江町出身の鶴巻マツ子さん(66)は「ポールがあったので、すごく楽に歩けた。保科正之公のことなど、あまり知らなかった猪苗代の歴史に触れられてよかった」と感想を述べました。

応急手当の大切さなど学ぶ

婦人消防連絡協議会が研修会実施



心臓の仕組みなどについて説明する大竹係長

町婦人消防連絡協議会(土屋紀伊子会長)の研修会は7月22日、学びいなどで開かれ、同会の会員ら約30人が出席しました。

土屋会長のあいさつの後、猪苗代消防署の大竹一嘉係長が「救急救命と防災について」と題して講演。心臓の働きやAED(自動体外式除細動器)の仕組み、救命手当ての必要性や心肺蘇生法の手順などについて説明を受けました。

質疑では、震災時にどう行動したら良いかなどに話が及び、大竹係長が「まずは落ち着いてテーブルの下に隠れるなど、身の安全を確保する事が第一」とアドバイスを送りました。

お気に入りは見つかった?

猪苗代に「おもちゃ図書館」が開館



寄贈されたおもちゃは子どもたちに大人気

子育てサロン日向ぼっこによる出張ひろば「おもちゃ図書館」は7月6日、町児童館で開かれました。このイベントは、被災地の子育て支援のため、ふくしま子育て支援ネットワーク事務局が企画したもの。東京のおもちゃ図書館などから来たボランティアの皆さんが、いろいろなおもちゃを会場中にひろげ、保護者や子どもたち約50人と一緒に遊びました。

保護者らは「手作りおもちゃや最新のおもちゃなどに触れることができ楽しかった」と感想を述べました。おもちゃは同サロンに寄贈され、今日も子どもたちを楽しませています。

田澤義雄さんが満100歳に

ケアテル猪苗代で知事賀寿を贈呈



前後町長から賀寿を贈呈される田澤さん

7月10日に満100歳の誕生日を迎えた田澤義雄さん(北高野)への知事賀寿贈呈式は同日、介護老人保健施設ケアテル猪苗代で挙行されました。

山口靖明会津保健福祉事務所長が、知事賀寿と記念品の会津漆器の木杯を贈呈。続いて前後町長と戸田忠義町老人クラブ連合会会長が賀寿と記念品を手渡しました。

「若い頃一生懸命働いた人なので、体が丈夫。病院や施設で丁寧にもてらっているのが長寿につながっている」と息子の憲さんは感謝の言葉を述べました。

民話を聞いて元気を出そう

第10回いなわしろ民話祭りを開催



猪苗代に伝わる民話に聞き入る観客ら

いなわしろ民話の会主催の第10回いなわしろ民話祭りは7月18日、学びいなどで開催されました。

「一元気な猪苗代 元気な福島— 東日本大震災からの復興をめざして」と銘打ったことしの民話祭りでは、民話を聞いて元気になろうを合言葉に、楽しい話、昔の暮らしの話や妖怪の話などを会員の皆さんが面白おかしく語りました。

特別ゲストとして会津万歳伝承者の樋口充さんと樋口弘一さんも出演、会津万歳や民謡などを披露し、約200人が詰めかけた会場を沸かせました。

シーズン中の無事故を祈願

5浜合同浜開きと安全祈願祭実施



シーズン中の無事故と来客を祈願する関係者ら

猪苗代湖5浜の合同浜開きと安全祈願祭は7月15日、長浜で開催されました。祈願祭には、町内の商工観光業者、警察や消防関係者など約20人が出席。玉ぐしをささげて今シーズンの無事故を祈願しました。式典後には、長浜観光協会の秦久尚協会会長が「風評を克服し、復興に向けて歩みたい。福島を支援すると思って遊びに来ていただければ」とあいさつをしました。

県の放射性物質調査の結果「健康に影響はない」とされた猪苗代湖。湖水浴場は例年通り8月31日まで開放します。各浜の放射線量測定値については、町ホームページをご覧ください。